

AR コンテンツを SNS に投稿できるサービスの開発

Development of a service that can post AR content to SNS

柳萬 真伸 (22011376mr@tama.ac.jp)

1. 目的

これまで AR (Augmented Reality) は専用ゴーグルが必要だったり、専用アプリが必要だったりと何かと使用障壁が高い技術だった。しかし、近年では WebAR という技術が生まれ、Web 上で AR を楽しむことが可能となっている。本サービスは、WebAR という技術を使用し、これまでの使用障壁が高いといった問題や、共有がしづらいついた問題を解決することを目的としている。

2. 実現手法

本サービスでは、Web 上で 3D データから AR コンテンツを作成することができる。また、作った AR コンテンツを本サービス内に投稿できる。(図 1) また、実際の Twitter や Line 等の SNS に投稿することもできる。



(図 1 サービス内の投稿画面の予想デザイン)

3. システム概要

バックエンドは PHP の Web フレームワークである「Laravel」を使用して実装している。また、フロントエンドは、JavaScript の「react.js」を使用している。WebAR は、JavaScript のライブラリである「A-Frame」と「AR.js」を使用して実現している。また、3D オブジェクトを表示することも可能となっている。

4. 課題

本サービスの課題は二つある。一つ目は、マーカーレス AR に対応していないということである。現在はマーカーを使用してそこに AR コンテンツを表示している。二つ目は、そもそも 3D データがまだ身近になっていないため、AR コンテンツを作る障壁が高くなっていることである。